

教科・領域【 工 業 】 科目【 課題研究（木工） 】

| | | | | | |
|--------|-------|-----|--------|-----|------|
| 学科・コース | インテリア | 学 年 | 第 3 学年 | 単位数 | 3 単位 |
|--------|-------|-----|--------|-----|------|

1 学習内容と学習到達目標

インテリアに関する基礎的な技術を実際の作業を通して総合的に習得させ、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を育てる。

2 使用する主な教材等

(1) 使用教科書，副教材等
インテリアエレメント生産

(2) 授業で配布するもの

3 年間の学習計画等

| 学期 | 学習内容 | 月 | 学習のねらい | 備 考 (特記事項や他教科との関連等) | 考查範囲等 |
|-------------|---|---|-----------------------------|--|--------------|
| 一 学 期 | 人体系家具と準人体系の製作 | 4 | テーブルと椅子のオリジナルデザインをする。 | 機能性・安全性・ 審美性・独創性・ 加工性・市場性を 考慮させる。 | 考查は実施 しない |
| | 展示作品見学 | | 座卓と座椅子のオリジナルデザインをする。 | | |
| | アイデアスケッチ 設計図を描く | 5 | 家具デザインに要求される条件を考えながらデザインする。 | | |
| | 1/5スケールモデルの制作 設計図・詳細図・原寸図を描く | 6 | 各部材の寸法・構造上の強度・加工性のチェック | | |
| | 作品制作 木取り作業 部品加工 | 7 | | | |
| | 《課題・提出物等》 | | | | |
| | 日誌・アイデアスケッチ・設計図の提出 | | | | |
| | 《1学期の学習状況の評価方法》 | | | | |
| | アイデアスケッチ・設計図・日誌・授業に対する意欲・関心・態度について評価する。 | | | | |

| 学期 | 学 習 内 容 | 月 | 学 習 の ね ら い | 備 考 (特記事項や他教科との関連等) | 考査範囲等 | |
|--|----------------------|----|---|------------------------|----------|--|
| 二 学 期 | 作品制作 テーブル・座卓の甲板加工 | 9 | 無垢材による甲板制作と中空心合板による甲板の制作を比較してその特徴を理解させる。 | | 考査は実施しない | |
| | 椅子・座椅子の制作 | 10 | 人体寸法の座位基準点をしっかりと把握して座り心地の良いものが出来るようにプロトタイプを参考にしながら制作する。 | | | |
| | | 11 | | | | |
| | 組立・塗装 | 12 | 仕上げ・組立・素地調整 塗装 刷毛塗り・吹き付け塗装 オイルフィニッシュの実習 | | | |
| 《課題・提出物等》 | | | | | | |
| アイデアスケッチ・設計図の提出 | | | | | | |
| 《2学期の学習状況の評価方法》 | | | | | | |
| 作品加工の加工技術・仕上り状態・日誌・授業に対する意欲・関心・態度を評価する | | | | | | |
| 三 学 期 | 完成した作品についての評価 | 1 | デザインの条件を充たした作品であるか,各項目をチェックして改良点を考えさせる。改良した部分を寸法訂正して設計図を直す。 | | 考査は実施しない | |
| | リデザイン | | デザインの意図・作品制作工程・制作で苦勞した点・反省点等をまとめる。 | | | |
| | 《課題・提出物等》 | | | | | |
| | 日誌・設計図の提出 | | | | | |
| 《3学期の学習状況の評価方法》 | | | | | | |
| 作品加工の加工技術・仕上り状態・日誌・授業に対する意欲・関心・態度を評価する | | | | | | |
| 《年間の学習状況の評価方法》 | | | | | | |
| 作品加工の加工技術・仕上り状態・日誌・授業に対する意欲・関心・態度を評価する | | | | | | |